



佐藤 一廣 議員

6人が登壇

副町長任命の考えは

町長

政策調整会議で指示や意見調整をしているので現体制でいく

議員 就任当初の所信表明において「当町の行政改革の推進として当時助役・収入役は配置しない」との公約を掲げている。当時の交付税減額や町債残高から比較すれば、ここ数年は安定した財源の確保、町債残高も減っている。

農業から見ても政府による農政の大転換、農業の安定経営、後継者育成の課題がある。また、行政改革の推進による職員の減少などにより、町長はじめ執行部の現体制に過度な負担がかかることなくスムーズな行政を執行するためにも必要と思うが。

行っている。それについて各課長から意見や考えが出されており、また必要に応じて職員からも意見を聞くようにしている。2期8年間をそのように過ごしてきたことで、管理職や職員も私の考えや行動をより理解していると思う。より職員との風通しは良くなっていると感じている。

多発するゲリラ豪雨、大型台風被害での事例を教訓にして自主防災組織との連携を含めた対応の強化が全国的に推進されている。国・防災関係機関・地方自治体が共有した防災計画を見直ししており、首長が不在であることによる初動体制の遅れと判断の誤りはないようにしている。



住民参加による防災訓練

以上のことから設置しない考えに変わりは無い。

議員 当町の電気自動車用充電器の設置について問う。

- 当町の電気自動車用充電器の設置について
- 町長の3期目の取り組み課題の重要な雇用対策は
- 基盤産業の米づくりに町独自の農家への施策は

町長

- スタンドで2ヶ所に設置する
- 最上8市町村と一体となり、企業誘致をしていく



佐藤 正 議員

町長 電気自動車用充電器をめぐる支援制度の新たな動きとして、自動車メーカー4社が、電動車両の充電インフラ普及に向けた支援内容を決定した。この制度を利用すべく、電気自動車用急速充電設備を2ヶ所に設置する申請での補正予算を今定例会に提案をした。設置場所は、電気自動車とプラグインハイブリッド車のメンテナンスを考慮し、町中心部2店のガソリンスタンドの一部を借り上げ、町が設置する方法を考えている。

議員 町長の3期目の取組課題の重要な雇用対策を問う。

町長 雇用の場の確保策として、町独自のの情報収集はもちろんと



TMR加工し、発酵中の飼料用米

町長 「こだわり」の栽培でよりコメの付加価値を高めるとともに、稲作と園芸作物、稲作と畜産の複合経営を推進し、あわせて多様な販売戦略を模索し、農家所得の向上に結び付ける。ま

た、コメや園芸作物を含め、耕畜連携による資源循環型農業や環境に配慮した農業の推進とともに主食用米に代わる飼料用米の計画的な作付けや、先進的取り組みであるSGS及びTMR加工の増産を推進する。

※SGSとは
モミだけを加工した飼料
※TMR加工とは
牛の養分要求量に合うように粗飼料・濃厚飼料・ミネラル、ビタミンなどをすべて混合した飼料



急速充電中の電気自動車

いづがききたい

一般質問